

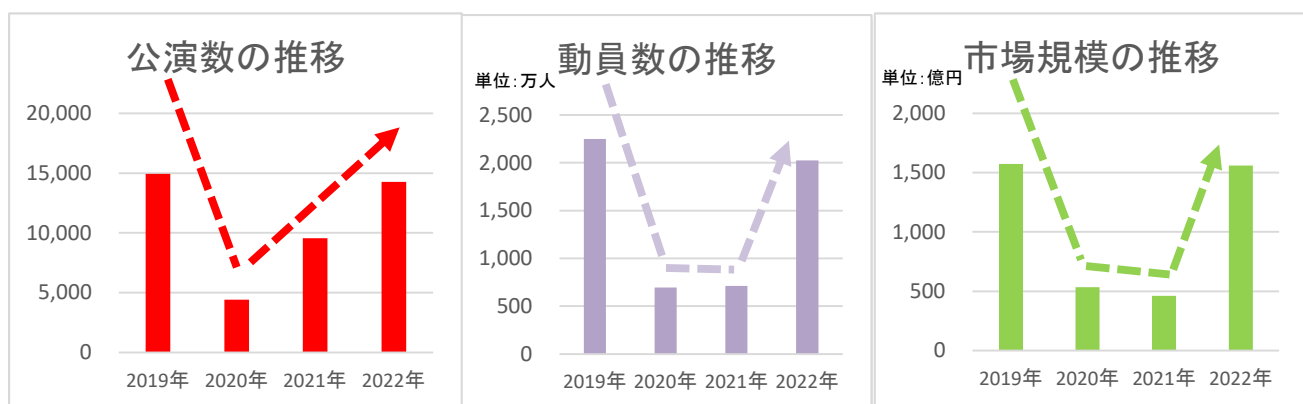
◆◆◆ ACPG基礎調査<2022年 上半期> ◆◆◆

調査団体名 一般社団法人コンサートプロモーターズ協会

調査対象期間 2022年1月1日～6月30日

<基礎調査サマリー>

項目	数値	前年上半期からの増減	前年上半期比	2019年上半期比
会員社数	75社	+3	—	+6社
総公演数	14,283本	+4,719本	149.3%	95.6%
総動員数	20,254,506人	+13,130,972人	284.3%	90.0%
総売上額	1561億9796万円	+1099億6560万円	337.9%	99.2%



<2022年上半期の市場概況>

- ①公演数・動員数・市場規模はコロナ禍前の2019年上半期と比較して、いずれも90%を超える数値
- ②催物の開催制限の緩和により、スタジアム・アリーナ・野外公演が本格的に再開
- ③関東エリアの公演数・動員数・市場規模はコロナ禍前を超えた。関西・東海エリアもコロナ禍前とほぼ同水準の公演数
- ④関東・東海・関西以外のエリアではコロナ禍前と大きな差が残る
- ⑤もともと公演の多い中核都市へ公演が集中し、それ以外のローカルな公演が増えづらい傾向が見られるなど、全国的な市場の回復には至っていない

■会場規模別の動向

2021年11月19日付の基本的対処方針で、公演主催者が感染防止安全計画を策定し、都道府県による確認を受けた場合、人数上限を収容定員まで、収容率の上限を100%とすることが可能となり、大規模会場の公演が本格的に再開されました。

スタジアム : 公演数102 動員数316.5万人 (2019年上半期:公演数120 動員数369.0万人)

アリーナ : 公演数823 動員数543.0万人 (2019年上半期:公演数728 動員数571.5万人)

野外 : 公演数123 動員数84.2万人 (2019年上半期:公演数113 動員数97.7万人)

アリーナは関東圏の新設2会場(約130公演)の稼働もあり公演数が大きく増加したものの、アリーナ1公演あたりの平均動員数6,597人はコロナ禍前の7,850人と差があります。

ホールの公演数は5,968で、コロナ禍前の2019年上半期比で99.7%まで数字が戻っていますが、動員の712.4万人は、コロナ禍前の86.5%に留まります。

ライブハウスの公演数は5,818で、コロナ禍前の2019年上半期比で79.6%の水準にありますが、動員数の

163.0万人はコロナ禍前の58.2%と、困難な状況が続いています。

2021年より枠を設けた「オンライン」は、公演数204、動員数21.4万人となり、いずれも前年上半期からほぼ半減しました。オンラインはACPC会員社が開催した公演を調査対象として、動員数は「有料公演のチケット販売数」を計上しています。

■招聘公演の動向

2022年3月1日の外国人の新規入国再開に伴い、スタジアム・アリーナも含めた公演が徐々に再開しています。2022年の通年では、さらに市場の拡大が見込まれます。

■エリア別の動向

関東エリアの公演数・動員数・市場規模は、コロナ禍前の2019年の数値を超えています。新設アリーナ2会場の本格的な稼働(約130公演)が要因のひとつと見られます。

関西・東海エリアもコロナ禍前とほぼ同水準の公演数ですが、一方で北海道・東北・北陸・中国・四国・九州・沖縄といったコロナ禍前と大きな差が残るエリアが少なくありません。

あらゆるエリアで、もともと公演の多い中核都市へ公演が集中し、それ以外のローカルな公演が増えづらい傾向が見られます。お客様の感染への不安や行動控えなど、コロナ禍の影響が根強いことが考えられ、全国的な市場の回復には至っていません。

■業界の課題・展望

ライブ・エンタテインメント産業の発展に向けて、これまでの感染対策の知見を元に、感染状況に合わせたガイドラインの改定、会場での感染予防策の継続など、引き続き安心・安全な公演開催に向けた取り組みを推し進めることで、多くの方に公演へ参加いただける環境作りに取り組んで参ります。

ただし、コロナ禍によるライブ・エンタテインメント関連企業やフリーランスの技術者の経済的損失はいままなお解消されていないと見られ、全国規模でのライブ産業の持続と発展のためにも、支援制度の拡充が求められます。

データから推測される、公演数の急増に伴うスタッフ・アルバイトの人材不足や、世界的な物価高と円安による機材・経費などの価格高騰も、業界で団結した取り組みが必要となりそうです。

<調査会員社 地域別内訳>

項目	数値	前年上半期からの増減	前年上半期	2019年上半期
北海道	6社		6社	6社
東北	5社		5社	5社
関東	40社	+3	37社	33社
北陸信越	4社		4社	4社
東海	3社		3社	4社
近畿	9社		9社	8社
中国四国	4社		4社	4社
九州沖縄	4社		4社	5社
合計	75社	+3	72社	69社

1.公演数(単位:本)

1) 総公演数

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
総公演数	14,283	149.3%	95.6%

2) 地域別公演数

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
北海道	523	143.7%	80.7%
東北	693	173.7%	68.9%
関東	6,463	153.0%	109.5%
北陸信越	562	150.3%	84.6%
東海	1,291	135.5%	94.8%
近畿	2,930	172.0%	95.8%
中国四国	702	129.5%	63.7%
九州沖縄	915	147.8%	75.9%
海外	0	0.0%	—
オンライン	204	52.7%	—
合計	14,283	149.3%	0.0%

3) 都道府県別公演数

北海道

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
北海道	523	143.7%	80.7%
合計	523	143.7%	80.7%

東北

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
青森	52	185.7%	89.7%
秋田	25	208.3%	41.0%
岩手	78	210.8%	63.9%
宮城	457	169.3%	75.0%
山形	27	168.8%	55.1%
福島	54	150.0%	50.5%
合計	693	173.7%	68.9%

関東

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
東京	5,013	154.0%	107.0%
神奈川	817	140.6%	193.6%
千葉	230	185.5%	74.7%
埼玉	210	155.6%	76.1%
群馬	59	184.4%	113.5%
栃木	48	137.1%	77.4%

茨城	44	125.7%	80.0%
山梨	42	161.5%	105.0%
合計	6,463	153.0%	109.5%

備考:「神奈川」の公演数の増加は、会場の新設やACPC会員社の増加に伴うものです。

北陸信越

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
新潟	238	164.1%	91.2%
長野	106	168.3%	80.3%
富山	37	123.3%	75.5%
石川	158	128.5%	88.8%
福井	23	176.9%	52.3%
合計	562	150.3%	84.6%

東海

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
愛知	1,046	125.9%	99.5%
静岡	180	200.0%	91.8%
岐阜	35	184.2%	53.8%
三重	30	230.8%	60.0%
合計	1,291	135.5%	94.8%

近畿

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
大阪	2,348	171.9%	100.4%
京都	196	142.0%	74.5%
兵庫	275	206.8%	84.1%
和歌山	27	128.6%	69.2%
奈良	40	250.0%	85.1%
滋賀	44	151.7%	97.8%
合計	2,930	172.0%	95.8%

中国四国

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
岡山	110	112.2%	54.5%
広島	295	156.9%	73.2%
鳥取	9	75.0%	32.1%
島根	23	127.8%	62.2%
山口	44	176.0%	73.3%
香川	117	111.4%	62.9%
徳島	16	133.3%	51.6%

愛媛	57	101.8%	51.4%
高知	31	110.7%	70.5%
合計	702	129.5%	63.7%

九州沖縄

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
福岡	547	135.7%	71.1%
佐賀	30	600.0%	136.4%
大分	37	194.7%	90.2%
長崎	34	212.5%	60.7%
熊本	108	186.2%	109.1%
宮崎	24	141.2%	80.0%
鹿児島	56	160.0%	73.7%
沖縄	79	119.7%	70.5%
合計	915	147.8%	75.9%

海外

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
海外	0	0.0%	—
合計	0	0.0%	—

オンライン

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
オンライン	204	52.7%	—
合計	204	52.7%	—

4) 会場規模別公演数

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
スタジアム	102	510.0%	85.0%
アリーナ	823	259.6%	113.0%
ホール	5,968	135.9%	99.7%
ライブハウス	5,818	143.1%	79.6%
野外(※1)	123	512.5%	108.8%
オンライン	204	52.7%	—
その他(※2)	1,245	347.8%	178.9%
合計	14,283	149.3%	95.6%

(※1)会場規模「野外」は特設会場・仮設会場での公演が対象です。

(※2)会場規模「その他」には、スタジオ、インストアイベント、イベントスペース、ショッピングモール、カフェ、ギャラリー、展示場、演芸場、教会、船上、小劇場、寄席などでの公演を含みます。

備考:「その他」の増加は、展示会やフードイベントなどの増加によるものです。

4)－① 会場規模別公演数(国内アーティスト)

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
スタジアム	83	415.0%	83.8%
アリーナ	779	245.7%	125.6%
ホール	5,875	133.9%	106.8%
ライブハウス	5,759	141.7%	81.3%
野外(※1)	121	504.2%	109.0%
オンライン	203	52.6%	—
その他(※2)	1,245	719.7%	201.8%
合計	14,065	150.1%	100.2%

(※1)会場規模「野外」は特設会場・仮設会場での公演が対象です。

(※2)会場規模「その他」には、スタジオ、インスタイベント、イベントスペース、ショッピングモール、カフェ、ギャラリー、展示場、演芸場、教会、船上、小劇場、寄席などでの公演を含みます。

備考:「その他」の増加は、展示会やフードイベントなどの増加によるものです。

4)－② 会場規模別公演数(海外アーティスト)

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
スタジアム	19	—	90.5%
アリーナ	44	—	40.7%
ホール	93	1860.0%	19.3%
ライブハウス	59	2950.0%	26.5%
野外(※1)	2	—	100.0%
オンライン	1	100.0%	—
その他(※2)	0	0.0%	0.0%
合計	218	113.0%	23.9%

(※1)会場規模「野外」は特設会場・仮設会場での公演が対象です。

(※2)会場規模「その他」には、スタジオ、インスタイベント、イベントスペース、ショッピングモール、カフェ、ギャラリー、展示場、演芸場、教会、船上、小劇場、寄席などでの公演を含みます。

5)－① ジャンル別公演数(国内アーティスト)

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
ロック・ポップス	9,983	147.2%	91.3%
歌謡曲・演歌	258	195.5%	92.1%
ジャズ・フュージョン	136	114.3%	680.0%
クラシック	221	160.1%	148.3%
パフォーマンスアート(※3)	2,233	119.2%	118.7%

その他(※4)	1,234	376.2%	160.7%
合計	14,065	150.1%	100.2%

(※3)ジャンル「パフォーミングアーツ」には、ミュージカルやバレエ、オペラ、レビューショー、伝統芸能、お笑い、

演劇、舞踊、ダンス、フィギュアスケートなど「コンサート以外のライブ・エンタテインメント」を含みます。

(※4)ジャンル「その他」にはライブ映像の上映、握手会やトークイベント、展示会やスポーツ、ゲーム大会などを含みます。

備考:「ジャズ・フュージョン」の増加は、AGPC会員社の増加によるものです。

備考:「その他」の増加は、展示会やフードイベントなどの増加によるものです。

5) ② ジャンル別公演数(海外アーティスト)

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
ロック・ポップス	103	3433.3%	15.6%
歌謡曲・演歌	0	—	0.0%
ジャズ・フュージョン	45	—	900.0%
クラシック	8	160.0%	18.2%
パフォーミングアーツ(※3)	35	—	20.7%
その他(※4)	27	14.6%	77.1%
合計	218	113.0%	23.9%

(※3)ジャンル「パフォーミングアーツ」には、ミュージカルやバレエ、オペラ、レビューショー、伝統芸能、お笑い、

演劇、舞踊、ダンス、フィギュアスケートなど「コンサート以外のライブ・エンタテインメント」を含みます。

(※4)ジャンル「その他」にはライブ映像の上映、握手会やトークイベント、展示会やスポーツ、ゲーム大会などを含みます。

6) 海外アーティスト国籍別公演数

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
北米	65	6500.0%	23.7%
中南米	8	0.0%	400.0%
欧州	21	14.8%	11.1%
アジア・オセアニア	3	6.4%	17.6%
韓国	107	3566.7%	31.6%
アフリカ	0	0.0%	—
フェスなど複合	14	—	15.2%
合計	218	113.0%	23.9%

2. 動員数(単位:人)

1) 総動員数

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
総動員数	20,254,506	284.3%	90.0%

2) 地域別動員数

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
----	----	--------	-----------

北海道	432,637	291.0%	50.5%
東北	476,943	303.9%	69.1%
関東	11,778,283	270.1%	111.4%
北陸信越	373,389	325.6%	65.3%
東海	1,382,109	340.6%	75.5%
近畿	4,264,291	313.0%	80.5%
中国四国	717,215	354.9%	71.9%
九州沖縄	829,639	223.2%	49.3%
合計	20,254,506	284.3%	90.0%

備考：地域別動員数の「地域」は、会員社の本社所在地を指します。個々の公演の開催地とは異なる場合があります。

3) 会場規模別動員数

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
スタジアム	3,165,774	870.9%	85.8%
アリーナ	5,430,887	407.4%	95.0%
ホール	7,124,556	194.9%	86.5%
ライブハウス	1,630,987	181.9%	58.2%
野外(※1)	842,356	2158.9%	86.2%
オンライン	214,138	50.0%	—
その他(※2)	1,845,808	452.1%	171.4%
合計	20,254,506	284.3%	90.0%

(※1)会場規模「野外」は特設会場・仮設会場での公演が対象です。

(※2)会場規模「その他」には、スタジオ、インスタイベント、イベントスペース、ショッピングモール、カフェ、ギャラリー、展示場、演芸場、教会、船上、小劇場、寄席などでの公演を含みます。

備考：「その他」の増加は、展示会やフードイベントなどの増加によるものです。

3) — ① 会場規模別動員数(国内アーティスト)

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
スタジアム	2,639,070	726.0%	85.7%
アリーナ	5,143,568	385.8%	104.9%
ホール	6,905,405	189.3%	93.6%
ライブハウス	1,611,588	179.8%	60.9%
野外(※1)	832,907	2134.7%	87.5%
オンライン	213,138	49.9%	—
その他(※2)	1,845,808	1088.0%	215.6%
合計	19,191,484	279.1%	96.9%

(※1)会場規模「野外」は特設会場・仮設会場での公演が対象です。

(※2)会場規模「その他」には、スタジオ、インスタイベント、イベントスペース、ショッピングモール、カフェ、ギャラリー、展示場、
 演芸場、教会、船上、小劇場、寄席などでの公演を含みます。

備考:「その他」の増加は、展示会やフードイベントなどの増加によるものです。

3) ② 会場規模別動員数(海外アーティスト)

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
スタジアム	526,704	—	86.0%
アリーナ	287,319	—	35.5%
ホール	219,151	3398.7%	25.4%
ライブハウス	19,399	22557.0%	12.5%
野外(※1)	9,449	—	37.8%
オンライン	1,000	100.0%	—
その他(※2)	0	0.0%	0.0%
合計	1,063,022	431.8%	39.6%

(※1)会場規模「野外」は特設会場・仮設会場での公演が対象です。

(※2)会場規模「その他」には、スタジオ、インスタイベント、イベントスペース、ショッピングモール、カフェ、ギャラリー、展示場、
 演芸場、教会、船上、小劇場、寄席などでの公演を含みます。

4) ① ジャンル別動員数(国内アーティスト)

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
ロック・ポップス	12,855,999	284.8%	85.3%
歌謡曲・演歌	648,925	307.2%	119.3%
ジャズ・フュージョン	42,318	145.6%	298.9%
クラシック	320,087	195.1%	161.3%
パフォーミングアーツ(※3)	2,541,879	161.1%	128.4%
その他(※4)	2,782,276	731.8%	138.7%
合計	19,191,484	279.1%	96.9%

(※3)ジャンル「パフォーミングアーツ」には、ミュージカルやバレエ、オペラ、レビューショー、伝統芸能、お笑い、
 演劇、舞踊、ダンス、フィギュアスケートなど「コンサート以外のライブ・エンタテインメント」を含みます。

(※4)ジャンル「その他」にはライブ映像の上映、握手会やトークイベント、展示会やスポーツ、ゲーム大会などを含みます。

備考:「ジャズ・フュージョン」の増加は、ACPC会員社の増加によるものです。

備考:「その他」の増加は、展示会やフードイベントなどの増加によるものです。

4) ② ジャンル別動員数(海外アーティスト)

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
ロック・ポップス	896,627	82562.3%	42.8%
歌謡曲・演歌	0	—	0.0%

ジャズ・フュージョン	22,256	—	402.3%
クラシック	5,892	91.4%	6.5%
パフォーミングアーツ(※3)	106,850	—	35.8%
その他(※4)	31,397	13.2%	16.1%
合計	1,063,022	431.8%	39.6%

(※3)ジャンル「パフォーミングアーツ」には、ミュージカルやバレエ、オペラ、レビューショー、伝統芸能、お笑い、

演劇、舞踊、ダンス、フィギュアスケートなど「コンサート以外のライブ・エンタテインメント」を含みます。

(※4)ジャンル「その他」にはライブ映像の上映、握手会やトークイベント、展示会やスポーツ、ゲーム大会などを含みます。

備考:「ジャズ・フュージョン」の増加は、ACPC会員社の増加によるものです。

5) 海外アーティスト国籍別動員数

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
北米	53,404	11509.5%	10.4%
中南米	2,160	0.0%	198.3%
欧州	24,597	17.1%	8.4%
アジア・オセアニア	2,039	2.0%	7.9%
韓国	936,231	86209.1%	61.1%
アフリカ	0	0.0%	—
フェスなど複合	44,591	—	13.9%
合計	1,063,022	431.8%	39.6%

3. 市場規模(単位:円)

1) 総売上額

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
総売上額	156,197,961,856	337.9%	99.2%

2) 地域別売上額

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
北海道	3,570,337,928	329.7%	53.2%
東北	4,101,750,370	358.2%	89.4%
関東	92,834,400,007	361.9%	120.8%
北陸信越	3,212,078,542	401.7%	70.9%
東海	11,832,520,075	356.1%	78.0%
近畿	28,396,611,053	272.8%	96.3%
中国四国	5,984,848,305	430.6%	85.6%
九州沖縄	6,265,415,576	258.2%	48.0%
合計	156,197,961,856	337.9%	99.2%

備考: 地域別市場規模の「地域」は、会員社の本社所在地を指します。個々の公演の開催地とは異なる場合があります。

3) 著作権使用料額

項目	数値	前年上半期比	2019年上半期比
著作権使用料額	2,236,623,951	289.8%	115.4%